

ひとくら  
**一庫ダム、最大流入時に約80%を貯留、  
ダム下流の河川水位を最大約129cm低減**

淀川水系猪名川いながわの一庫ダム（兵庫県川西市一庫）流域では、前線の影響により、9月18日2時頃から雨が降り始め、その後同日16時頃から激しい雨となり、16時からの3時間で75mm、特に16時から17時までの1時間では42mmを観測するなど、19日5時までに総雨量で148mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

一庫ダムでは、京セラドーム大阪約1/3杯分（約39万立方メートル）に相当する洪水をダムに貯め込む防災操作を実施しました。

この操作により、一庫ダムが無い場合と比べ、ダム下流の多田院ただいん水位観測所（兵庫県川西市多田院）では最大約129cm水位を低下させたと推定しています。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の河川水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。



平成28年9月19日

独立行政法人 水資源機構 一庫ダム管理所

発表記者クラブ

豊中記者クラブ

川西市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所  
住所：兵庫県川西市一庫字唐松4-1  
TEL：072-794-6671（代表）

## 前線に伴う出水と一庫<sup>ひとくら</sup>ダムの防災操作について

淀川水系猪名川<sup>いながわ</sup>の一庫ダム（兵庫県川西市一庫）流域では、前線の影響により、9月18日2時頃から雨が降り始め、その後同日16時頃から激しい雨となり、16時からの3時間で75mm、特に16時から17時までの1時間では42mmを観測するなど、19日5時までに総雨量で148mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この前線の降雨により、18日19時20分には流入量が洪水量（毎秒150立方メートル）に達したため、防災操作（※）を開始しました。

今回の防災操作は、最大流入時（18日19時40分）に流入量（毎秒約178立方メートル）の約80%となる毎秒約142立方メートルを貯留し、京セラドーム大阪約1/3杯分（約39万立方メートル）に相当する洪水をダムに貯め込みました。

この操作により、一庫ダムが無い場合と比べ、ダム下流の多田院<sup>ただいん</sup>水位観測所（兵庫県川西市多田院）で最大約129cm水位を低下させたと推定しています。

一庫ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の河川水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

### 防災操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が最 大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻におけ るダム放流量	同時刻におけ るダム貯留量
一庫ダム	148mm	9月18日 19時40分	約178m <sup>3</sup> /s	約36 m <sup>3</sup> /s	約142m <sup>3</sup> /s

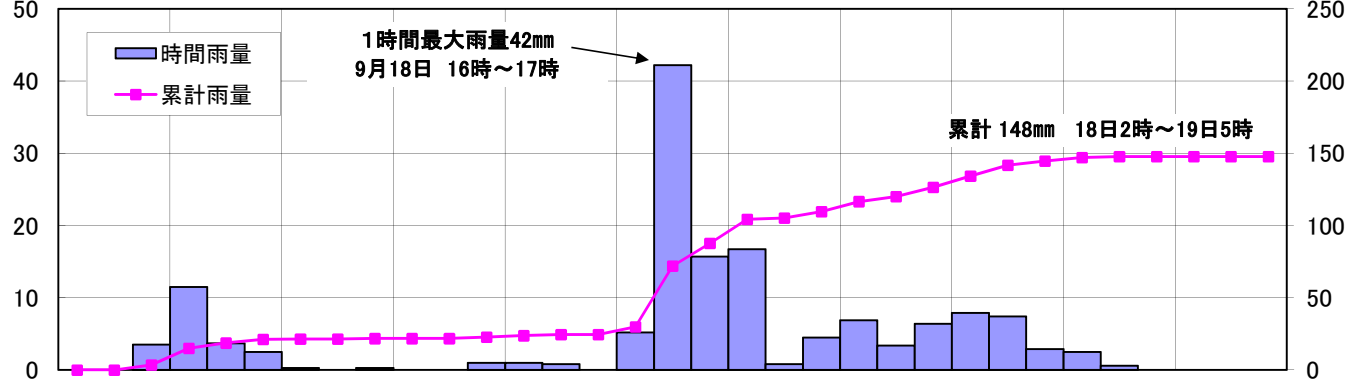


# 前線の降雨に伴う一庫ダム防災操作について

流域平均  
時間雨量  
(mm)

一庫ダム流域平均雨量

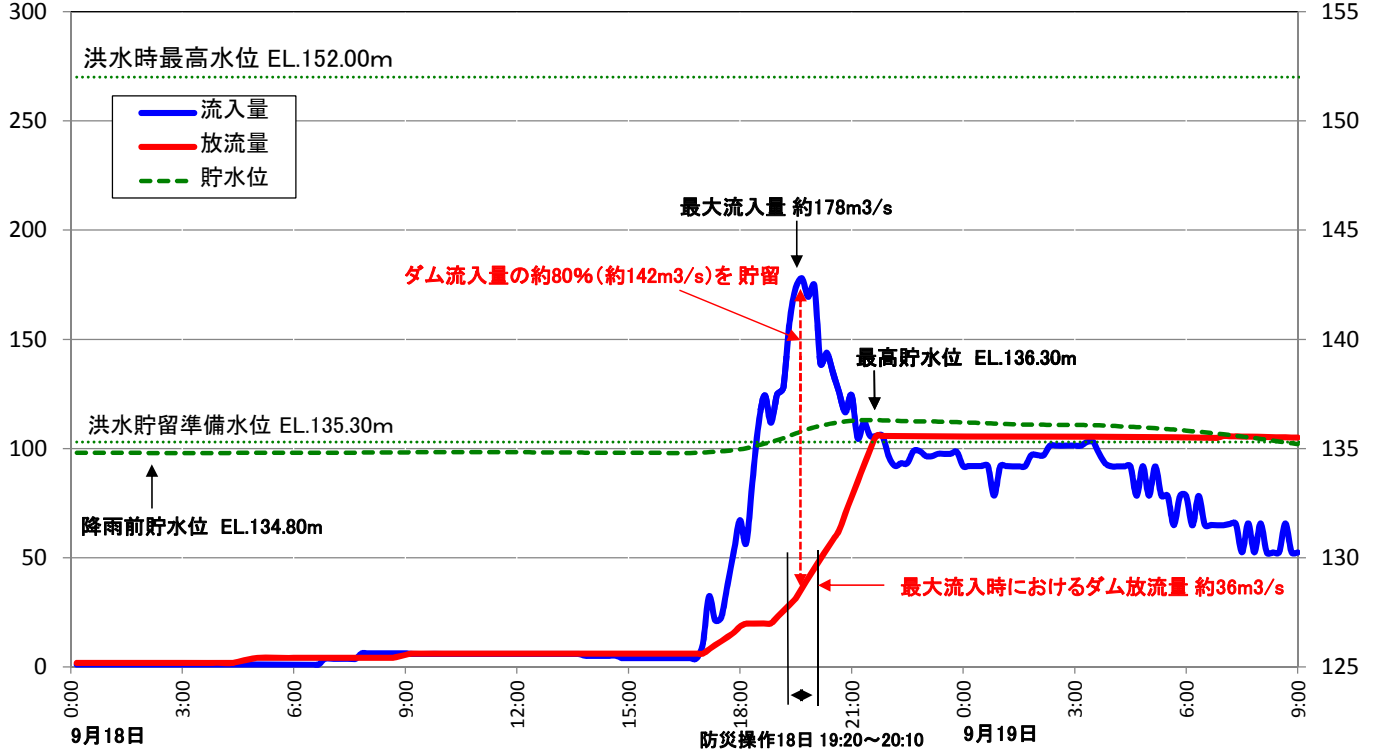
流域平均  
累計雨量  
(mm)



流量 (m<sup>3</sup>/s)

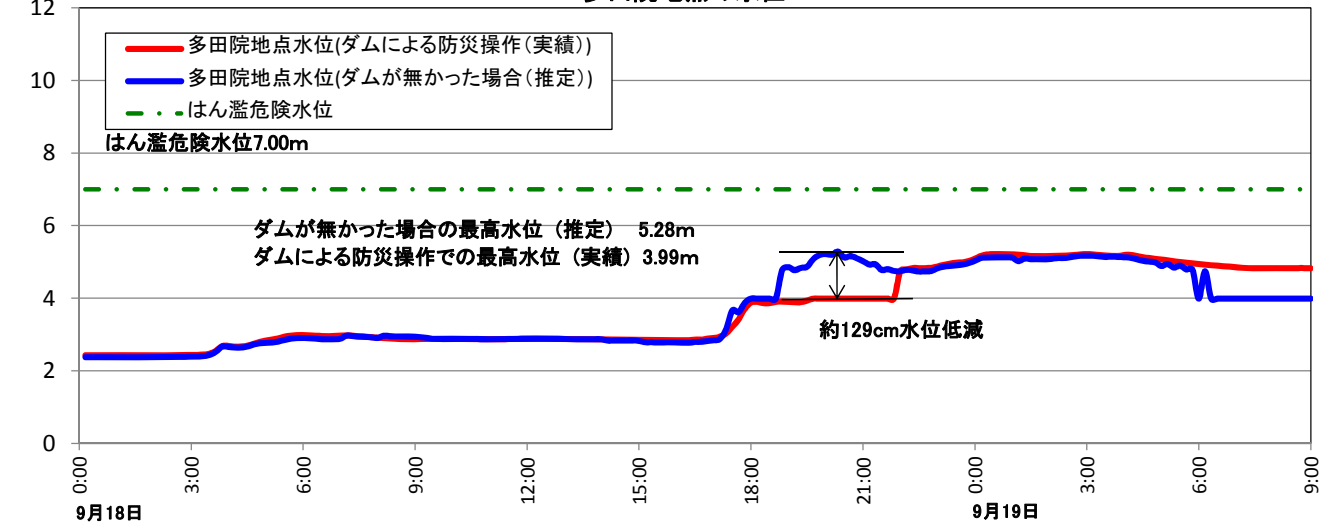
一庫ダムの防災操作図

貯水位 (EL.m)



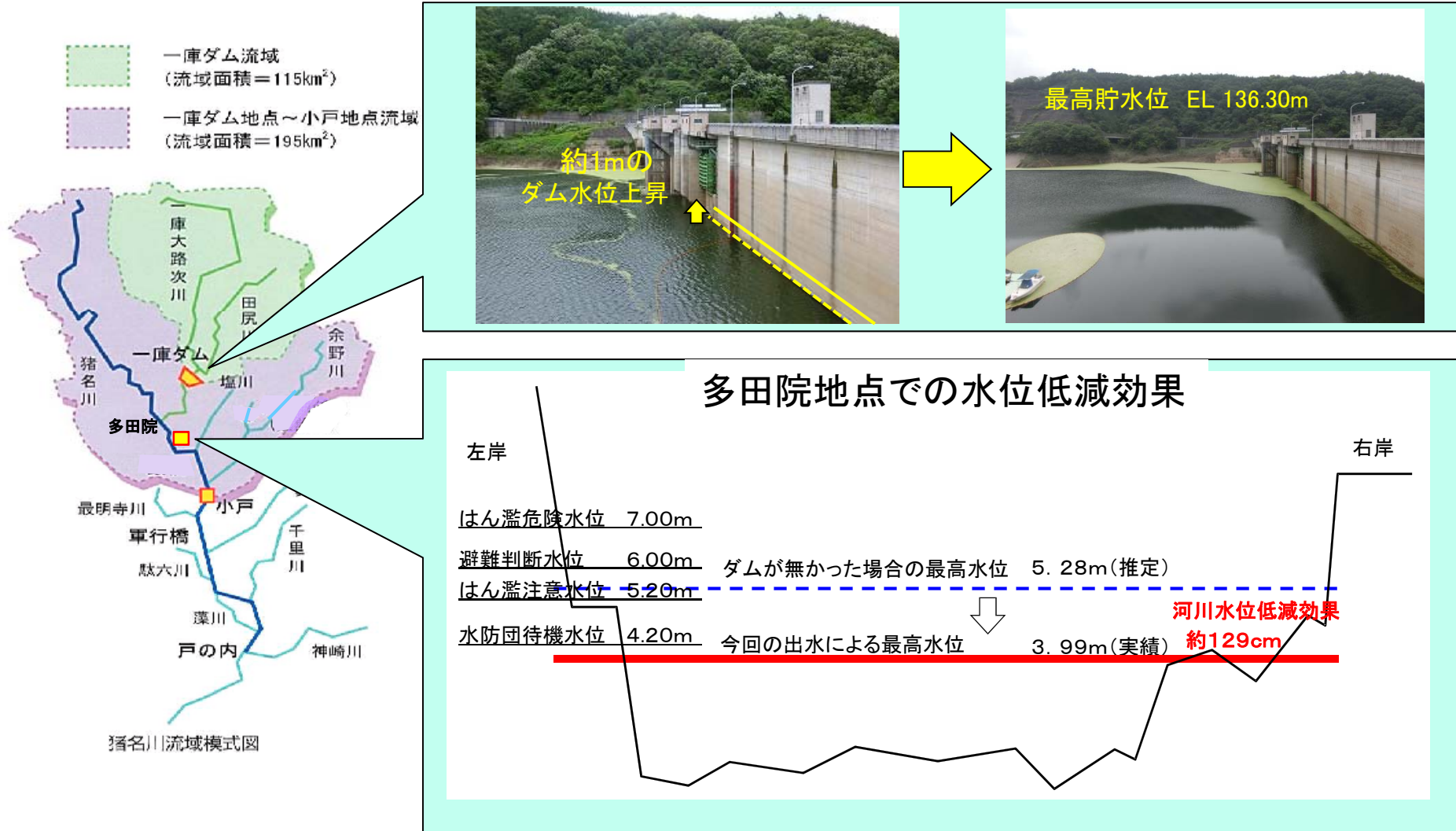
水位 (m)

多田院地点の水位



# 京セラドーム大阪約1/3杯分の洪水を貯留、ダム下流の河川水位を最大約129cm低減

前線の降雨によりダムへの流入量が増大し、最大流入量（毎秒約178立方メートル）を記録しました。一庫ダムでは、京セラドーム大阪約1/3杯分（約39万立方メートル）に相当する洪水をダムに貯め込み、ダム下流の多田院地点で約129cm水位低下させたと推定しています。（京セラドーム大阪の大きさを120万m<sup>3</sup>として算出）



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。